

プロジェクト 森林資源等を生かした山村の振興

目 標

- ・木材生産を除く林業産出額（薪炭生産、栽培きのこ類生産、林野副産物採取）
R2～R4平均：4.6億円 → R10：4.8億円

挑戦する内容

- ・特用林産物の生産振興
- ・うるし等の森林資源の活用促進
- ・里山林に係る地域外関係者受入れのための環境整備

関係者の声
=対話

- ・青森きくらげを通年で栽培したい（きのこ生産者）
- ・国産漆を安定的に入手したい（津軽塗関係団体）
- ・りんご栽培をやめた園地を有効活用したい（りんご園所有者）
- ・里山林が放置されており、手入れや利活用を進めたい（地域住民）
- ・森林空間を活用して地域外から人を呼び込みたい（市町村等）

役割分担

- ・生産者、地域住民：きのこやうるしの生産、里山林の整備等
- ・県、産技センター：活動支援、普及啓発、きのこ栽培技術開発

変革後の姿

- ・きのこやうるし、薪や木炭などを生かした地場産業が形成されるとともに、地域に根ざした風土や伝統文化、良質な景観が継承
- ・森林空間の総合的な利用などを通じて、地域外の住民との交流が拡大し、地域が活性化

令和6年度計画

挑戦する内容

- 1 特用林産物の生産振興
 - ・野生きのこ類の出荷制限解除に向けて、青森市、十和田市、鱒ヶ沢町、階上町におけるサンプリング調査、分析及び安全性を証明するための統計処理を実施
 - ・青森きくらげの栽培管理技術を生産者へ普及するため、生産者向けの栽培・出荷講習会の実施及び栽培・管理マニュアルの作成
 - ・青森きくらげの栽培期間の長期化を図るため、栽培施設のモニタリング調査を実施
- 2 うるし等の森林資源の活用促進
 - ・うるし林の保育技術を実証するためのモデル造成地を設定
 - ・うるし林の施業に関する技術を習得するための実技研修会を開催
 - ・うるしモデル造成地での実証結果等をまとめた施業技術冊子を作成
- 3 里山林に係る地域外関係者受入れのための環境整備
 - ・森林空間を活用した体験プログラムの商品化
 - ・体験プログラム商品化に係るノウハウの他地域への普及



青森きくらげ栽培試験



うるしモデル林の造成



森林空間利用（森林ウォーキング）

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（8月、1月）
- ・野生きのこ類のサンプリング調査実施に当たり、各市町村と意見交換し、出荷制限解除について検討（9月）
- ・青森きくらげ栽培・出荷講習会やモニタリング調査時において生産者と意見交換し、指導内容に反映（随時）
- ・うるし植栽者や植栽希望者と意見交換し、事業構築に反映（随時）
- ・体験プログラムを商品化する地域企業等と意見交換し、普及拡大策を検討（随時）